

小学校ってどんなところだろう？	(2) 小学校との連携・交流
認定こども園	幸認定こども園
<実施時期>	10月
<幼児期の終わりまでに育って欲しい姿に繋がる部分>	
「共同性」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」	
<活動のきっかけ>	
<ul style="list-style-type: none"> ・就学前健診を控えた10月の中旬、ホームルームで年長児と小学校について話をすると、「小学校ってどんなことをするんだろう」と様々な質問が挙がったので、小学校と連絡を取り、子どもたちの質問票を届けたり、校庭で遊ばせてもらう等の交流を図る。 	
<活動のねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への親しみや自信をもって、進学へ向けての活動に取り組めるようにする。 	
<経験する内容>	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校はどのようなところか、こども園との違いを見つけたり、興味が持てるようにする。 ・小学校とこども園の違いや、遊具など物の大きさに気付く。 ・自分たちの疑問や質問を手紙に書いたり、小学生からの返事を読んだりして、文字や数字などに関心を持つ。 	
<新型コロナウイルス感染症に対する活動の工夫>	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で実際に小学校へ見学に行ったり、小学生と交流するなど例年と同じような交流を行うのは難しいが、こども園の中で小学校について話したり、不安を受け止めながら話をするなどしていた。 ・小学校との連絡をこまめに行いながら、子どもたちから出た質問や疑問を手紙に書いて届け、校庭で遊ぶ機会を設け、実際に見たり、触れたりすることで、小学校への不安を取り除けるようにした。 	
<活動の内容>	
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が思い思いに聞きたいこと、知りたいことを手紙に書けるようにした。字が苦手な子は絵に描いたり、見本を見て書いたり、友だちと協力して書いて完成させた。 ・小学校へ行く前に、昨年度の小学校との交流の壁新聞を見たり、話し合いのなかで小学校へのイメージや知りたいこと、やってみたいこと等を子どもたちと出し合った。 ・歩く道もほとんどの子が通る道筋を通り、横断歩道や危険な箇所などを確認しながら歩いて行った。 ・校庭では思い思いに遊具で遊べるようにし、園に戻った後すぐに子どもたちで「小学校で感じたこと」「こども園との違い」「さらに聞きたくなったこと」など自分の思いを伝える機会を設けた。それを壁新聞にし、子どもも保護者も見ることができるようにした。 ・小学生からの返事が届くと、自分たちで文字を何度も何度も読みながら、小学校への期待が膨らんでいった。 	

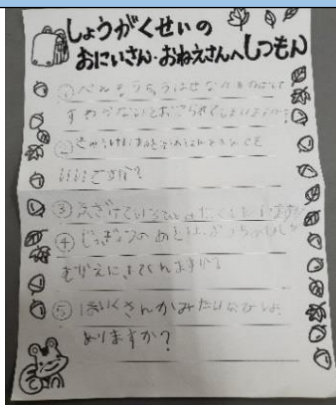
<活動でみられた子どもの姿>

- ・小学校への期待を持って話を聞く子が多い中、「勉強できるかな?」「先生って怖いかな?」と不安や心配を伝える子もいた。
- ・担任が小学校へ手紙を書くことを提案すると、子どもたちはそれぞれに聞きたいことを手紙にして、小学校へ届けることを楽しみにしていた。
- ・学校までの道のりも、道路の端を歩くことや横断歩道など気をつけて歩くところを確認するなど、登校時への思いも持ったようであった。
- ・校庭で遊ばせてもらうことで、遊具の数や大きさの違いに気づき、保育者に伝えていた。
- ・小学生からの返事の手紙を自分たちで読んだり、担任に読んでもらい喜ぶ姿があった。

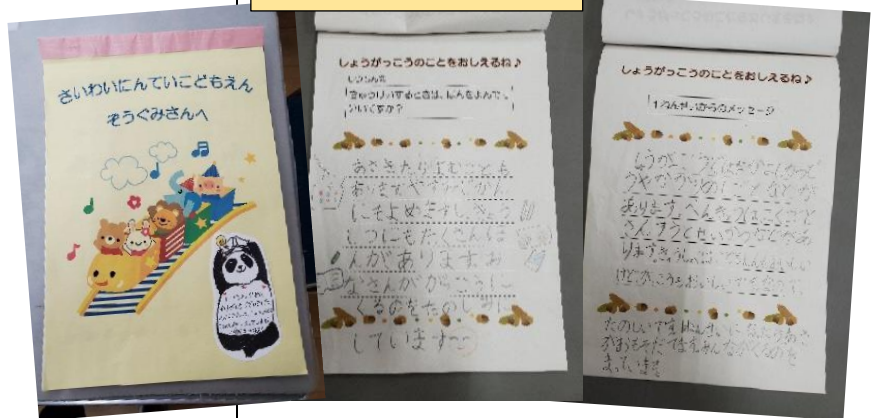
<環境構成・教材や保育者の援助等>

- ・毎月届く小学校からのおたよりを見せ、小学校の行事や取り組みなどを担任が知らせていった。廊下に貼りだし、保護者も見てもらえるようにした。
- ・子どもたちの小学校への不安や質問を、文字にして手紙を作った。
- ・校庭で遊ばせてもらい、登り棒や鉄棒など大きな遊具にも挑戦し、楽しめるようにした。
- ・小学校訪問の写真を撮り、壁新聞を作り、子どもたちが再度見られるようにしたり、保護者にも見てもらい、取り組みを知ってもらう機会とした。

子どもたちの質問票



小学1年生からの返事



<成果と今後の課題>

- ・実際に小学校を訪問することや小学生との手紙のやりとりを通して、子どもたちの不安は少しずつ期待へと変化し、「小学校へ行ったら～～がしたい」と伝えてくることも多くなり、年長児の活動へも意欲的に取り組んでいる。
- ・新型コロナウイルス感染拡大があり、なかなか交流や訪問ができないが、園だよりや子どもたちの手紙の交換、こども園での活動を知らせる壁新聞なども手紙にして伝える機会を持つなど、できることを進めていきたい。

<カリキュラムコーディネーターのコメント>

子ども達の小学校に対する質問を手紙にし、小学生から返事をもらうという交流を通して、小学校に対する子どもの不安や心配を和らげ、期待を高めることに繋げていました。子どもの不安や心配を大人ではなく小学生自身に答えてもらうことは、こども園の子ども達にとって大きな安心材料になったと感じます。小学校の校庭で遊ぶ活動は、小学校に対する前向きなイメージを醸成することに繋がり、かつその過程で交通安全のルールや数量的感覚を豊かにするなど、子どものさまざまな側面の育ちが促された充実した活動であったことがとてもよく伝わってきました。